

指定校番号	30053	学級活動	生徒会活動	<input type="radio"/> 学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-------	----------------------------	------

平成30年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	庄原市立庄原中学校	校長	定宗 譲二	生徒指導主事	小田 昌滋
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『合唱祭』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「共感力」	1	「協調性・柔軟性」	3	「高い志・使命感」	2

取組のねらい『キーワード 自己肯定感』

本校は、これまで生徒の自己肯定感の低さが、問題行動や不登校の原因になっていた。そこで、生徒の自己肯定感を高めるために、合唱祭を計画した。生徒主体で活動することが成功体験になり、生徒の自己肯定感を向上させ、学校生活全体へのやる気に繋がると考えている。また、意欲の向上が問題行動や不登校の減少に繋がると期待している。

取組の具体的内容『キーワード 共感できる異学年交流』

合唱祭に向けての具体的な取組として、約1カ月前から指揮者、伴奏者、スピーチ、めくり作成、パートリーダーなど役割分担をして事前の取組を行っている。合唱祭当日に向けての練習では、各クラスのパートリーダーが中心となって練習の計画を考え指示を出し練習を行っている。また、クラス内での練習だけでなく縦割り練習として各学年の1組が集まるなどの異学年交流を行っている。縦割り練習の際は、3学年が司会をするなどして全体の進行を行っている。

また、合唱祭当日の表彰の際は、めくり賞やスピーチ賞、指揮者賞の発表があり、各クラスの担当者は入賞出来るよう様々な工夫をし、表彰がある事が、役割のある生徒の活動意欲の向上につながっている。



(合唱祭の「めくり」は合唱祭後に校内に掲示しています。)

取組の課題・創意工夫『キーワード メッセージカード』

学年練習や縦割り練習の際には、お互いの良い点・改善点を「メッセージカード」に記入させ「見える化」を図っている。記入されたカードは各クラスに掲示するなどして、書いてある改善点などをその後の練習の参考に使っている。また、肯定的なアドバイスは、生徒のやる気にも繋がっている。

また、合唱祭終了後は振り返りを行っている。これから何を目標にどのようなことをがんばるかワークシートにまとめるなどして、合唱祭の取組による自己肯定感の高まりを、今後の生活に活かせるようまとめさせた。各自が記入したものは廊下に掲示するなどしている。



(合唱祭後は個人で振り返りを行っています。)

取組の成果（効果）『キーワード 高い志・使命感』

合唱祭に向けての練習では、様々な生徒間の課題を解決しながら、合唱祭のステージに向けて、クラス全員が一つになる事ができた。合唱祭当日の達成感、これからの学級の大きな力になったと考えている。自分たちで、創意工夫を行い、仲間と共に同じ目標に向かう努力をしたことは大きな成果であった。また、特に1学年は、2・3学年の迫力を目のあたりにして自分たちも頑張ろうと目標がもてた。3学年は、1・2学年の模範になるよう意識し歌声だけでなく、ステージ上での態度も意識して取り組む事ができた。

今後の展開『キーワード 生徒会活動の活性化』

合唱祭では生徒会執行部が中心となり当日の運営や準備を行った。生徒自ら意欲をもって取り組むことができたことも生徒会執行部の存在が大きかったと考える。今後も、生徒会が前面に出て全校をリードしていく流れを作っていきたい。

他教科との関わり『キーワード 向上心』

合唱祭では審査員による審査が行われ、順位が決定する。審査内容は声の大きさに加え、ハーモニーや各パートのバランスなど細かな審査が行われる。そのため、音楽の授業では、専門的な指導やアドバイスをを行っている。